

第1回豊和村づくり協議会報告

2018年5月13日
豊和コミュニティーセンター
事務局担当：椿茂雄

<参加者>

椿環境保全会代表、栖閑飯塚分区長、高坂（SOSA プロジェクト理事）、豊和小学校伊藤教頭、向後飯塚区長、林社協豊和支部長、寺本（Tree little birds）椿（匠瑳ソーラーシェアリング代表）東（市民エネルギーちば）

1 自己紹介

2 「藻谷さんと語る会」の報告

- 環境保全会、SOSA プロジェクトと共催で実施。
- 参加者は全体で約60名、市議会議員4名、市の職員2名。
- 環境保全会が5万円、SOSA プロジェクト1.5万円、村づくり協議会も1.5万円負担
*村づくり協議会からの1.5万円の支出について了承された。
- アンケート集約結果は別紙参照

3 「村づくり基金」の状況

- 既に設備がつくられている事業者（設備）に対して協力要請を行った結果、現時点で以下の回答を得ている。
 - ・匠瑳ソーラーシェアリング 200万円、市民エネルギーちば 30万円、
 - ・横浜環境デザイン 6万円 ・イージーパワー 12万円
 - ・千葉エコ・エネルギーは協力に向けて社内手続中
- 更に追加での要請、設備の設置が計画されていて最終的には280万円位になる見込み

4 協議事項

1) 協力設備に設置する看板について

- 設置費用は、協議会が負担する。
- 看板の大きさ A3サイズ以上
- 記載内容

「村づくり基金」協力設備

この設備の売電収入から頂いている「村づくり基金」は、農地の保全や農業支援、豊和地域の環境保全や活性化、子供達の育成のために活用しています。

豊和村づくり協議会

*上記の内容で了承された。看板の内容（文面）は基本的にはこれで良いが、設備の設置者の意向を踏まえて追加も可能。

2) 協議会のホームページと広報紙の発行について

- 主な目的は、村づくり協議会の活動の周知と基金を経費化できるようにするため。
- ホームページの作成は若干経費（5万円位？）がかかるが、外注する。管理は事務局で行う。
- バナー広告として基金拠出事業者の名前と自己紹介を載せる。
- 広報紙は A 3 二つ折りサイズ、年数回発行。配布は豊和地域内（回覧板）を中心に市内の公共施設、郵便局、銀行、コンビニ等に置かせてもらう。
- 内容としては、協議会の活動報告や基金の使用状況、活動への参加要請などの他、基金を出してくれた事業者の一覧も掲載する。

***村づくり協議会を紹介するもの（広報紙1号？）をできるだけ早く発行する。**

3) 協議会の運営方法、経費等について

- ①協議会の活動は基本的にはボランティアとし、会議費、日当等は合意した例外を除いては出さない。
- ②必要な事務局経費は予算化する。主には以下のようなものか。
 - ・HPの管理費
 - ・公報紙の作成費

***次回会議に予算見積りを出す。**

4) 今期（8月位まで）の基金の使用について

- ①開畑の犬屋敷跡地のゴミ処理として、50万円程度使うことで決定。
- ②小学校から移動式テレビ（PCと接続できる）の要望が出され、了承された。具体的な選定は小学校に要請。
- ③今年度の特例として各地区（飯塚、大寺、内山）へ一定の金額を交付することについて議論したが、最終的には各地区から取組み内容について申請書を出してもらった上で、協議会で検討して決めることとなった。各地区には申請用紙を渡して次回協議会までに申請を出してもらう予定。

5) どんなイベントや取組み、団体があるか・・・今後の基金使用対象候補

- ざっくりばらんに意見を出してもらった結果、今後の検討するとして以下が上がった。
 - ・小学校でPTAなどが中心に行っている「盆踊り」への支援
 - ・グランドゴルフ
- 今後検討すべき課題として、地域で働くこと、働けることを子供達に知ってもらう取組みや移住希望者に応えるための空家の確保や「お試し移住」など都会から人を呼び入れる取組みへの支援。
- 子供達に「将来の豊和」の姿を考えてもらい、発表する場をつくってはどうか。

5 次回協議会

7月8日13時 豊和コミュニティーセンター

***参加をお願いします。**